

製品名: BRCA2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07643**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BRCA2
別名	BRCA2; FACD; FANCD1; Breast cancer type 2 susceptibility protein; Fanconi anemia group D1 protein
遺伝子 ID	675.0
SwissProt ID	P51587
免疫原	抗血清はヒト BRCA2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

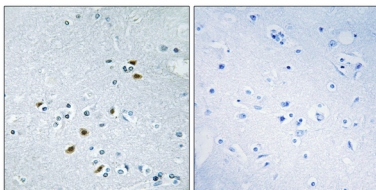
BRCA1 遺伝子およびこの遺伝子 BRCA2 の遺伝性変異は、乳がんまたは卵巣がんの生涯発症リスクを増加させます。BRCA1 と

BRCA2 はどちらもゲノム安定性の維持、特に二本鎖 DNA 修復のための相同組換え経路に関与しています。BRCA2 タンパク質には、BRC モチーフと呼ばれる 70 アミノ酸のモチーフが複数コピー含まれており、これらのモチーフは DNA 修復に機能する RAD51 リコンビナーゼへの結合を媒介します。BRCA2 は腫瘍抑制遺伝子と考えられており、BRCA2 変異を持つ腫瘍は一般に野生型対立遺伝子のヘテロ接合性喪失 (LOH) を示します。[RefSeq 提供、2008 年 12 月]、疾患: BRCA2 の欠陥は乳がん (BC) に対する遺伝的感受性の原因です [MIM: 612555、114480]。家族性乳がん卵巣がん感受性 2 型 (BROVCA2) とも呼ばれます。乳がんは非常に一般的な悪性腫瘍で、生涯のうちに 8 人に 1 人の女性が罹患します。家族歴があることがこの疾患発症リスクの主な要因であることが判明しており、この関連は早期発症型乳がんの場合に顕著です。BRCA2 の変異は、一部の遺伝性乳がんの原因であると考えられています。男性の乳がんに関連しています。、疾患: BRCA2 の欠陥は、ファンコニ貧血相補性グループ D タイプ 1 (FANCD1) [MIM: 605724] の原因です。ファンコニ貧血 [MIM: 227650] は、すべての骨髄要素に影響を及ぼし、心臓、腎臓、四肢の奇形、および皮膚の色素変化に関連する常染色体劣性疾患です。、機能: 二本鎖切断修復および/または相同組み換えに関与しています。S 期チェックポイント活性化に関与する可能性がある。、オンライン情報: BRCA2 エントリ、多型: BRCA2 の遺伝子変異は、ブドウ膜黒色腫 [MIM:155720] の感受性の根底にある可能性がある。ブドウ膜黒色腫は、最も一般的な眼悪性腫瘍であり、ブドウ膜メラノサイトの過剰増殖から成り、しばしばブドウ膜母斑が先行する。、PTM: 放射線誘発性 DNA 損傷時に ATM によってリン酸化される。、類似性: 8 つの BRCA2 リピートを含む。、サブユニット: RAD51 および DSS1 と相互作用する。ユビキチン化された FANCD2 と相互作用する。PALB2 と相互作用し、組換え修復およびチェックポイント機能を可能にする。WDR16 と相互作用する。、組織特異性: 乳房および胸腺で最も高い発現レベルを示し、肺、卵巣、脾臓ではわずかに低いレベルを示す。、

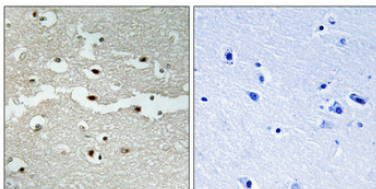
研究分野

相同組換え;がんにおける経路;膵臓がん;

画像データ



BRCA2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。